※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　福祉科

教科	（専）福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「社会福祉基礎」（実教出版）						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地域社会で生活されている人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について考えていきます。
・現代社会で起こっている福祉に関する諸問題について、新聞記事、テレビニュース、ｗｅｂ等から興味、関心の幅を広げ、問題解決方法を考察する力を養いましょう。
・卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって必要とする、基礎的な社会福祉に関する知識や技術を学ぶとともに「福祉の心」も育みましょう。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を育成することをめざす。
（１）社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
（３）健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ科学的な根拠に基づいて、創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会福祉の理念と人間の尊厳について考える	●社会福祉の理念と意義 [生活と福祉] 1　少子高齢化と人口減少に向かう日本 2　産業と地域社会の変化 3　家族と働き方の変化 4　疾病構造の変化 5　人の一生と社会福祉 [社会福祉の理念] 1　現代の福祉理念 2　日本国憲法と社会福祉 3　地域生活と社会福祉 [人間の尊厳と新たなる福祉社会の創造] 1　人間としての尊厳 2　自立生活支援 3　新たな福祉社会の構築に向けて	a:生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて、理解しているとともに関連する技術を身に付けている。 b:社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 c:社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 小テスト レポート課題 定期考査	ワークシート グループワーク 小テスト レポート課題 定期考査	授業観察 ワークシート グループワーク レポート課題

※令和４年度以降入学生用

	社会福祉の歴史と時代の展望・生活を支える社会保障について考える	●社会福祉の歴史と時代の展望 [日本における社会福祉] 1　近代社会福祉の黎明期 2　社会事業の成立と発展 3　戦時厚生事業による福祉対策 4　戦後対策としての社会福祉の構築 5　高度経済成長期と社会保障、社会福祉の拡充 6　新世紀に向けた福祉改革と介護保険制度の導入 7　子ども、家庭支援のさらなる充実をめざして 8　障がい者福祉のさらなる充実をめざして 9　次代に向けた新たな社会福祉の挑戦 ●生活を支える社会福祉･社会保障制度 [社会保障制度の意義と役割] 1 社会保障制度の意義と役割 2 社会保障の各制度の概要 3 社会保障制度を推進する機関	a:日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b:日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について思考を深めつつ、新たな福祉の挑戦について、職業人に求められる倫理観をふまえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 c:日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について、自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 小テスト レポート課題 定期考査	ワークシート グループワーク 小テスト レポート課題 定期考査	授業観察 ワークシート グループワーク レポート課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	生活を支える社会保障制度について考える。	●生活を支える社会福祉･社会保障制度 [子ども家庭福祉] 1　少子化時代の子ども子育て支援 2　児童相談所と市町村の役割 3　子ども支援と保育 4　子どものすこやかな成長に向けて 5　子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 6　社会的養護と児童虐待への対応 7　障がいのある子どもへの支援 8　子どもの権利と子ども家庭福祉	a:子ども家庭福祉と社会福祉サービスの各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b:各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策の課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 c:児童家庭福祉と社会福祉サービスについて、自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 小テスト レポート課題 定期考査	ワークシート グループワーク 小テスト レポート課題 定期考査	授業観察 ワークシート グループワーク レポート課題
		[高齢者福祉と介護保険制度] 1　日本が直面する人口構造の高齢化 2　高齢者の生きがいと健康づくりに向けて 3　介護保険制度の誕生 4　介護保険制度の見直し 5　高齢者の在宅サービス（福祉系・医療系）	a:高齢者福祉と介護保険制度などの各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題などについて、理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b:各制度の社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状から課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 c:高齢者福祉と介護保険制度にについて、自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 小テスト レポート課題 定期考査	ワークシート グループワーク 小テスト レポート課題 定期考査	授業観察 ワークシート グループワーク レポート課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	生活を支える社会福祉制度について考える。	[障がい者福祉] 1　障がい者福祉とは 2　障がいの社会モデルとICF 3　障がい者の現状と生活のしづらさ 4　障がい者福祉の理念 5　障がい者福祉を支える法制度 6　身体障がい者の現状と支援 7　知的障がい者の現状と支援 8　精神障がい者の現状と支援 9　発達障がい者の現状と支援 10　障がい者総合支援法の現状と課題 11　障がい者福祉の今後のあり方	a:障がい者福祉と障がい者自立支援制度の各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの概要と現状について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b:各制度の社会的背景、社会福祉サービスの現状から課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 c:障がい者福祉と障がい者自立支援制度について、自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 小テスト レポート課題 定期考査	ワークシート グループワーク 小テスト レポート課題 定期考査	授業観察 ワークシート グループワーク レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度